



2010年2月 号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

民主党参議院比例区第37総支部代表

大島 九州男 特集号

〒822-0022 福岡県直方市知古 764-1
☎0949-22-0576 / FAX0949-24-3110

http://KUSUO-O.NET

通常国会 平成21年度
第2次補正予算 成立



1月28日の参議院本会議にて、予算規模7.2兆円、事業規模24兆円の平成21年度第2次補正予算が、賛成142、反対82で可決、成立致しました。これに先立ち、大島九州男議員は、民主党・新緑風会・国民新・日本を代表して「賛成討論」を行いました。本会議で初めての登壇です。

大島九州男-参議院本会議で賛成討論

大島九州男議員は、本会議で初めての賛成討論でしたが、ノー原稿（原稿なし）で堂々と登壇しました。冒頭、与党の予算委員会理事の1人として、100年に1度の未曾有の経済不況の中、補正予算の早期成立にご協力いただいた議員に謝意を述べる一方、野党議員によるテレビ、マスコミ受けを狙った質問が目立ったことを指摘。本来、予算委員会の審議は、予算の効果や予算の使い道など、具体的に深く考察し、議論を重ねなければならない重要な審議だが、良識の府である参議院にふさわしくないと訴えました。



賛成の理由には、①長期失業者、新卒者に対する雇用対策が盛り込まれていること、②環境エネルギー分野に重点をおいていること、③中小企業の資金繰りに対し、セーフティネット貸付の延長・拡充と緊急保証を創設するなど十分な配慮がなされていることを挙げ、平成21年度第2次補正予算は平成22年度予算へ“絆”をつなぐ予算であると主張し、賛成討論を締めくくりました。

“絆”をつなぐ予算の概要

平成21年度第2次補正予算から平成22年度予算へ…

平成21年度第2次補正予算のポイント

7兆2013億円の緊急経済対策。「雇用・環境・景気」を柱とする予算

◆雇用

- 求職中の生活困窮者に対する「住まい対策」 → 700億円
介護・医療・農林・環境・エネルギー分野の雇用創造 → 1,500億円
認可保育所の待機児童解消への取り組み → 200億円など

◆環境

- エコポイント活用によるグリーン家電普及事業 → 2,321億円
住宅版エコポイントの創設 → 1,000億円など

※住宅版エコポイント

省エネ住宅の新築や断熱壁などへの改修工事に他の商品と交換できるポイントを付与。対象住宅は、2010年1月28日以降に工事が完了した住宅。ただし新築は2009年12月8日以降、リフォームは2010年1月1日以降、いずれも12月末までに着工した物件に限定。

◆景気

- セーフティネット貸付の延長と拡充 → 1,361億円
デフレによる実質金利高の軽減制度 → 506億円など

平成22年度予算のポイント

92兆2992億円の緊急経済対策。「コンクリートから人へ」の方針に沿って
社会保障関係費や文教・科学技術振興費が増加、地方交付税も積み増した予算

◆公共事業関係費

→5兆7,731億円(前年度比18.3%減)

- 新幹線だけは前年度並みを計上。道路、航空、港湾関係予算は軒並み減少。

◆子ども手当と社会保障関係費

→27兆2,686億円(前年度比9.8%増)

- 子ども手当の創設、協会けんぽ国庫負担の増額、生活保護費の母子加算復活、年金記録問題への集中対応、非正規労働者へのセーフティネット強化など。

◆高校の実質無償化

→3,933億円(新設)

- 大島九州男議員が、長い間力を入れてきた法案が予算化

◆農業の戸別所得補償制度

→5,618億円(新設)

- 農畜産物の販売価格と生産費の差額を補てん(販売農家へ直接支給する)

◆経済危機対応・地域活性化予備費等

→2兆円(一部新設)

- 災害復旧など予見し難い予算の不足に充てるもの。

◆地方財政

→16兆8,935億円(3年連続増)

- 地方交付税の原資である国税5税の収入が落ち込んだものの、民主党の「地域主権」の考えに沿って増額。

九州男 ウォッチング

1月某日、国会会期中の大島議員の動きをウォッチしました。この日は本会議も所属委員会も開催されていませんでしたが…そんな時、国会議員は何をしているのでしょうか？

6:00 朝参り

8:00 国土交通省政策会議

通常国会提出予定の3法案について

9:00 文部科学省レクその①

高校無償化法案などについて意見交換

10:15 支援者・来室

この日は、柔道整復師の先生方と情報交換

11:30 国会見学

支援者の方を、国会内をご案内。

14:00 文部科学省レクその②

高校無償化・私学助成について意見交換

15:10 朝日新聞取材

教科書バリアフリーについての経過取材

16:00 産経新聞取材

16:30 核軍縮議連会議

17:00 環境省政策会議

- ①生物多様性国家戦略について
②廃棄物処理制度の見直しについて

18:00 日本大学賀詞交歓会

母校の賀詞交歓会に参加。



大島議員は、時計をにらみながら、国会議事堂や衆・参両議員会館を奔走していました。ちなみに、この日は準備のために4時起床だったそうです！

注1)政策会議＝民主党と政府が一体となって政策を議論する会議。各省の副大臣が主催し、与党議員、および秘書なら誰でも参加できる。

注2)レク＝レクチャーの略。各省庁から政策に限らず専門分野について、個別に聞き取り、意見交換を行う。

注3)議連＝議員連盟。国会議員が活動目的をもって結成する会の総称。